1年生 一日総合大学

例年実施されている一年生の医療創生大学での一日総合大学は、感染症流行対策のため、十月二十七日（火）本校において模擬講義のみが実施された。例年であれば、実際の大学の施設をお借りして行っている行事だが、医療創生大学から講師をお招きし、大学での学びについて触れることができた。

講座名	担当教員
薬の基礎知識　－　漢方薬　－	薬　学　部　松本　司 先生
知っていますか？　日本で生まれた母子健康手帳	看　護　学　部　鈴木久美子 先生
理学療法と筋力について	健康医療科学部　三好　圭 先生
子どものリハビリテーションを体験しよう！	健康医療科学部　北山　淳 先生
心理学を学ぶと人の心がわかるようになれますか？	心　理　学　部　大島　典子 先生
「皆さんの私生活に、人工知能(Artificial Intelligence)が与える影響を考える。」	教　養　学　部　金　世煥 先生
「新しい経済学　－　行動経済学入門」	教　養　学　部　末次　晃 先生
「科学の視点からみた治療の話」	教　養　学　部　梅村　一之 先生

講義ありがとうございました
～受講した1年生の感想（一部抜粋）～

知っていますか？日本で生まれた母子健康手帳
鈴木久美子先生

今回の講義は私の将来の事について深めるために、とても参考になりました。「母子健康手帳」というキーワードをもとにして、母子健康手帳が作られたきっかけやどんなように変わっていったのか、その当時に起こっていたことと照らし合わせながら一緒に教えてもらいました。また、母子健康手帳については、「なぜ間違ったのか」原因を探り、「自分のミスの癖」を認識してもう一度問題を解き直す。以上、ぜひ実行してみてください。

最後にタイトルにある「冬休みは休みではない」についてです。その理由は三つあります。①共通テスト直前で一番ビリつく時期だから。②共通テストや受験・就職まであと〇年の区切りだから。③次の学年へのステップアップの始まりだから。

①ここから三月までの約三ヵ月弱は熾烈な戦いが続き、社会全体を巻き込んでの受験の季節となります。世の中がお正月を迎える中、受験生は共通テスト直前に不安や悲しみ、怒りをかみ殺しながら勉強を重ねるのです。冬休みは入試の戦いの時期であることを感じてください。

②受験や就職で皆さんの人生は一つの大きな転機を迎えます。その時までの一つの区切りが冬休みです。何も考えずに年末年始を浮かれて過ごしている場合ではありません。

③後期中間考査も終わり、三月で今の学年・クラスとはお別れです。授業も残りわずか。そんな中で、次の学年への姿勢はできていますか？学習時間が少ない、成績が低い、計画性がない、そんな状態での進級は厳しいですよ。冬休みは次の学年で耐えていけるだけの自分作りをするときであることを肝に銘じて勉強しましょう。

冬休みの過ごし方
川島　仁先生

二年生については、学年集会や進路講演会、日頃のホームルームの話などを通じて再三にわたり「二年生の秋から受験勉強がスタートする！」と語られています。なので、今さら「冬休みの過ごし方」などというような、悠長な話をする気はありません。

学年集会でも話しましたが、「先を見通して、今何をすべきなのかを考え、早め早めに物事に取りかかる」ことがますます大切になります。

後期中間考査が終了後、大きな試験がない十一月後半～十二月は勉強の目標を見失いがちだが、こんな時こそ受験科目になる理科・社会の立て直しを図れ！と言ってきました。それもそのはず、日程を見れば分かるように、一月のみならず二月の模擬試験の対策までを冬休みまでに終えることを目標に勉強しなければいけないことが分かります。今年の目標が「五教科の勉強を軌道に乗せる」ことなので、正に受験科目になる理科・社会の立て直しが急務です。

ところで、理科・社会の勉強方法ですが、インプット＝基礎知識の確認をしたら、必ずアウトプット＝問題演習を行い、基礎知識を利用して問題解決できたかを確認してください。問題解決できなかったらすかさず基礎知識の確認へ戻り、定着を図ります。それは、インプットとアウトプット両方ができて、初めて知識が身についたと言えるからです。

そして、二月の模擬試験が終わったら、秋からの三回分の模試反省で見えてきた弱点の強化を、三年生になるまでの残り一ヶ月半で行うことですね。

月	日	曜	試験などの行事
1	8	金	授業開始日・学力テスト
	⋮	⋮	学力テストの後１週間の模試対策
	16	土	ベネッセ総合学力テスト・1月（５教科・記述）→ 志望校４校まで判定
	17	日	大学入学共通テスト(1/16～17)
	⋮	⋮	模試の後10日たらずの考査対策
	28	木	学年末考査（第１日）
	29	金	学年末考査（第２日）
2	1	月	学年末考査（第３日）
	2	火	学年末考査（第４日）
	⋮	⋮	模試開けにひかえる修学旅行の準備３日間！　ドッキング判定
	6	土	大学入学共通テスト模試・２月（５教科・マーク）→ 志望校８校まで判定

冬休みの過ごし方 ～冬休みは休みではない～
第一学年主任　今村義泰先生

二〇二〇年も残りわずかとなりました。今年は予定していた様々な行事が中止や変更を余儀なくされました。この一年を振り返って学習面に不安を抱えている人も少なくないでしょう。新年を迎える前にもう一度これまでの学習習慣について振り返り、冬休みの計画を立てましょう。

冬季休業中には課外や課題が多く予定されていますが、それ以外にもこの一年間の学習内容の復習を行いましょう。特にこれまでの定期考査や模擬試験のやり直しを行う絶好の機会です。定期考査や模擬試験で間違えた問題は、自分の「伸びしろ」です。冬休み中にじっくりと時間をかけて取り組んでみましょう。必ず力になります。では、具体的なやり方について一例を挙げておきます。①今までの定期考査や模擬試験で間違えた問題を解き直してみる。②自己採点をする。この時「答えがあっていたかどうか」よりも「考え方があっていたどうか」に注意して採点する。③「考え方がわかっていなかった問題」については、考え方を理解することから始め、類題に取り組む。④「考え方がわかっていたが間違えた問題」については、「なぜ間違ったのか」原因を探り、「自分のミスの癖」を認識してもう一度問題を解き直す。以上、ぜひ実行してみてください。

最後にタイトルにある「冬休みは休みではない」についてです。その理由は三つあります。①共通テスト直前で一番ビリつく時期だから。②共通テストや受験・就職まであと〇年の区切りだから。③次の学年へのステップアップの始まりだから。

①ここから三月までの約三ヵ月弱は熾烈な戦いが続き、社会全体を巻き込んでの受験の季節となります。世の中がお正月を迎える中、受験生は共通テスト直前に不安や悲しみ、怒りをかみ殺しながら勉強を重ねるのです。冬休みは入試の戦いの時期であることを感じてください。

②受験や就職で皆さんの人生は一つの大きな転機を迎えます。その時までの一つの区切りが冬休みです。何も考えずに年末年始を浮かれて過ごしている場合ではありません。

③後期中間考査も終わり、三月で今の学年・クラスとはお別れです。授業も残りわずか。そんな中で、次の学年への姿勢はできていますか？学習時間が少ない、成績が低い、計画性がない、そんな状態での進級は厳しいですよ。冬休みは次の学年で耐えていけるだけの自分作りをするときであることを肝に銘じて勉強しましょう。

夢に向かって
第三学年担任より一言

豊田浩美先生

♪明日はきっといい天気
青き春もまたそうであれ
白紙の物語に何を描くのか
誰と描くのか
星の見えない日々で迷うたび
に　誰か照らすその意味を知
るのでしょう
愛する人よ　親愛なる友よ
あなたこそがエール　…
「星売のエールより」

ここ一番で頑張らなくてはならない時に、自分には応援してくれる人がいることをありがたく…そして心強く思って闘ってください。健闘を祈ります！

菅野　剛先生

とにかくやるしかない。没頭せよ。諦めずに粘り切ること自体に価値がある。

澤田淳子先生

「神様は乗り越えられる試練しか与えない。」乗り越えられずに逃げてしまうと、同じ試練がまた状況を変えてやってきます。一度克服すれば、同じような問題はもう起こらなくなります。だから、与えられた試練に逃げずに立ち向かってください。「自分にはできる！」と強い意志を持って、乗り越えましょう。あなたの人生を決めるのは、あなたの心ひとつです。

渡辺麻笑子先生

不安はあるかと思いますが、やるだけやったと思える人は、まずは共通テストに自信を持って臨みましょう。そしてその後は、気持ちを切り替えて二次試験に向けて頑張りましょう。共通テストから二次試験までの一ヶ月、どんどん伸びます。最後（後期日程）まで諦めない！健闘を祈ります。

山本理恵先生

本番までに、「できることはやり尽くした」と思えるくらい努力してみてください。この経験は無駄にはなりません。そう信じて最後まで諦めないでください。陰ながら応援しています。

西山晴之先生

最後の最後まで粘り続けること。腹をくくること。

阿部祐一朗先生

①体調管理・感染予防
…コロナにも負けるな！
②模試おさらい
…このレベルの理解力を
③演習時間管理
…時間を決めて（タイマー活用）
④不明箇所の解消
…ここぞ得点源に！
⑤ミスをしない
…日々の工夫&習慣を（注意力喚起）
⑥体のバイオリズム調整
…朝型ですか？
⑦二次・個別の勉強も
…敵を知り、己を知れば…
⑧日々の反復
…長文読解もリスニングも
⑨夢工房に書いて下さい(w)
…君こそ書かねば!!

目指す山が大きければ大きいほど辛いのは自然の理です。そもそも登り坂が楽なハズありません。しかし登りきった者だけが頂上の絶景を見ることができるのです。この時期、誰もが不安です。今こそ、「今に集中」して目の前の課題だけに集中し、全力を尽くせ。夢は逃げない。逃げているのは自分だ!!「意志は道を拓く!!」狭き門や閉ざされた扉をこじ開ける意志が君には有るのか？

冬季休業中～共通テストまでの予定

月	日	曜	行　事	1学年	2学年	3学年
12	18	金		全校集会		
	19	土				
	20	日				
	21	月		冬季課外①		
	22	火		冬季課外②		
	23	水		冬季課外③		
	24	木		冬季課外④		
	25	金		冬季課外⑤		
	26	土		冬季課外⑥		
	27	日				
	28	月	御用納め			
	29	火	(学校閉～1/3)			
	30	水				
	31	木				
1	1	金	元日			
	2	土				
	3	日				
	4	月				共通テストトレーニング
	5	火				共通テストトレーニング
	6	水				冬季課外⑦
	7	木				冬季課外⑧
	8	金	授業開始	学力テスト		
	9	土		土曜課外⑦		土曜課外⑩
	10	日				
	11	月	成人の日			
	12	火				
	13	水				
	14	木				
	15	金				共通テスト試験事前指導
	16	土		進研模試（記述）		共通テスト
	17	日				共通テスト
	18	月				共通テスト自己採点

※赤本部屋は、冬季休業中も年末年始休業中以外の月～金は利用できます。

子どものリハビリテーションを体験しよう！
北山　淳先生

今回はお忙しい中、貴重な講義をしていただきありがとうございました。今回の講義を通して作業療法士の仕事や発達障害を持つ子供たちについてより詳しく知ることができました。特に印象に残っているのは発達障害を持つ方の疑似体験です。テレビやネットからの知識や話を聞くことは違って、実際に体験することで発達障害を持っている方の日常生活の大変さだけでなく、自分たちがどのように対応し向き合っていくべきなのかということを考えさせられる良い経験となりました。また、LDやADHDの歴史上の人物や有名人がたくさんいることに大変驚きました。障害を持つ方は決して健常者に劣るわけでなく限りない可能性を秘めたかけがえのない存在だと感じることができました。

私は今、作業療法士を目指しています。今回、この講義を受けさせていただいたことで改めて作業療法士の仕事の魅力、やりがいを知りこの仕事に対してより興味がわきました。これからも目標に向かって努力し続けたいです。また、「自閉症」「LD」「ADHD」の特徴を理解するとともに、「発達障害は気持ちの問題」「育て方が悪い」という勘違いをしている人や発達障害によって自己評価を低くしてしまう方を一人でも減らせるよう、正しい知識を広めていきたいと思います。そして不自由なく生活できる環境に感謝できる人間になりたいです。今回は本当にありがとうございました。

心理学を学ぶと人の心がわかるようになれますか？
大島　典子先生

“心理”というのは「人の心の理」である。私が最も興味深かった点はストレスと認知の関係である。認知とは知覚をもとに解釈すること。つまり、物事のとらえ方である。認知の仕方によってストレス反応が違うのである。私はネガティブに物事をとらえてしまったことが何度もある。そこで大島先生が提案した解決策は、ネガティブな心のつぶやきがあったら、その後ろに「と思っている」と加えるというものだ。そうすることで事実が何かをはっきりとさせることができる。大島先生のあげた例を借りると、「私はだめだ。」と考えている場合、「私はだめだ。と思っている」と変換する。事実は「思っている」部分であって「私はだめだ」は事実ではないのである。

今回、大島先生の講義を受け、心理学にとても関心を持った。一人一人考えていることや経験したことが違うので、一〇〇％人の気持ちを理解できるわけではないが、人の気持ちを知ろうとする思いこそが大切なのだと思った。心理学を学ぶことで、自分を理解したり、様々な視点で物事を考えたりできるようになると思う。

科学の視点からみた治療の話
梅村　一之先生

私は感染症と言って思いつくのは新型コロナでした。しかし、名前を聞いたことがあるだけで、詳しく知っていることがなかったことに気づきました。アメリカでは一日十万人も増えており、日本では考えられないほど大変になっていることや、感染の原因など、たくさんのことを学びました。新型コロナだけでなく、天然痘、結核、スペイン風邪、エイズ、エボラ出血熱など、歴史上から今まで流行した多くの感染症を知りました。その中でも私は天然痘と言う感染症が印象に残りました。私たちが知っているような偉大な人たちもかかっていた事は驚きました。また治療についても学びました。私は、ミイラが薬として使われていたということにとても驚きました。昔ヨーロッパでは、ミイラは万病に効果的と信じられていたそうです。この話を聞いて、科学者たちがいなかったら、今でも良い治療法はなかったかもしれないと思い感謝したいと思いました。これからは世界から感染症の患者が少しでも減ってほしいです。また、私はまだ将来の夢が決まっていません。今回の話を聞いて、治療法を見つけるなど、人のためになる職業も良いなと思いました。